

令和2年12月24日

第12回（12月）

定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会

令和2年12月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和2年12月24日（木）10時00分

2. 場 所 51号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	旭田 國浩
委員	渡邊 義専

4. 出席事務局職員

教育次長兼教 育振興課長	橋本 張幸	学校教育課長 兼教育審議員	永杉 尚久
生涯学習課長	宮脇 浩司	指導主事	大塚 真史
指導主事	溜渕 知昭	指導主事	成瀬 典子
課長補佐兼学 務係長	畑山 鉄也	教育政策係長	吉村 麗月
給食センター 所長	永吉 万寿美	給食センター 整備推進室長	岡村 哲明
社会教育係長	馬場 理恵子	スポーツ推進 係長	前田 恵子

教育長 ○開会宣言 令和2年12月24日（木）10時00分
 ○会議成立の確認（全員出席）
 ○議題、会議の日程等の承認
 ○会議録署名委員の指名（西尾委員）

1. 前回会議録の承認（旭田委員）
2. 議案

【議第46号 荒尾市教育委員会申請書等の押印の省略に関する規則の制定について（教育振興課）】

- 事務局説明
- 質疑

各委員	特になし
-----	------

【議第47号 荒尾市立学校職員旧姓使用取扱要綱の一部を改正する訓令について（教育振興課）】

- 事務局説明
- 質疑

委員	本市の学校教職員で、旧姓使用されている方は何名いるのか。
事務局	旧姓を使用している教職員はいない。

【報告第10号 荒尾市スポーツ推進委員の委嘱について（生涯学習課）】

- 事務局説明
- 質問

各委員	特になし
-----	------

【報告第11号 荒尾市スポーツ推進委員の委嘱について（学校教育課）】

- 事務局説明
- 質問

各委員	特になし
-----	------

【その他 12月補正予算について】

- 事務局説明
- 質問

委員	自分がよく通る道であるためか、緑ヶ丘小の外壁が老朽化して幽霊屋敷みたいである。一小も然り。桜山小のように、雨漏りするまで放っておくのではなく、時々、手をいれれば、学校も長持ちすると思う。もう少し、子どもたちが嬉しくなるような学校にしていきたい。改築するには多大な費用が掛かるため、適宜改修していただければと思う。
事務局	平成30年度に長寿命化計画を作成している。その内容は、委員が仰るとおり、施設がいよいよダメになり、どうにかしないといけないということで動くとか、後回し後回しで本当に老朽化してからでしか手を入れられないというのが現状。長寿命化計画では、20年に1回、中規模な改修を実施し、40年に1回は大規模な改修をして、施設を80年もたせるという発想が新しく盛り込まれている。それでいくと本市は、20年で中規模な改修をしていないということで、既にスタート時点で遅れていることとなる。計画は平成30年度に立てているが、実際は、令和元年度及び2年度では長寿命化計画に基づく改修は行われていないため、本計画を少しでも進めていくために現在、令和3年度の予算要求をしているところ。スタート時点でかなり遅れているため、どうしても外観よりも安全性を優先して着工していくことになる。所管としては、少しでも踏み出して進めていきたいと考えているので、中期的なスパンで見守っていただけたらと思う。
委員	オリンピック開催された場合は、大型パブリックビューイングはどこでする予定であったのか。
事務局	文化センターの小ホールで実施する予定としていた。あくまで、本市出身の方が出場する種目のみ。パラリンピックに出場する本市選手については、福祉課が所管となり、対応を計画している。

【その他 荒尾市教育振興基本計画策定業務委託に係る公募型プロポーザル方式の採用理由について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし
-----	------

【その他 荒尾市・長洲町学校給食センター基本設計書について】

○事務局説明

○質問

委員	総事業費 29 億の本市と長洲町の負担割合はどうか。児童生徒数の比率によるのか。
事務局	今年の 10 月に協議会を立ち上げて、そこで費用負担割合を決めたところ。この本体工事に関しては、10%を均等割、90%を児童生徒数割としている。
委員	これだけの施設が充実されるから、コンセプトにセンターと地域を繋ぐとあり、よければ、子どもたちだけでなく大人も含めた食の啓発もできるような行事や取り組みができたらいと思うが可能なのか。
事務局	資料の 28 頁にある食育展示室において、長洲町の食育改善推進員から食育に関する展示ができないかという相談も受けているところ。スペースを設けるなど検討していきたい。
委員	すごくいいコンセプトで素晴らしい施設ができると期待している。それにあたり、給食センターで給食のメニューのお弁当の販売等はできないのか。
事務局	学校給食衛生管理基準というのがあり、かなり高いハードルの基準を設けている。つくったものを食缶に入れたら 2 時間以内に喫食するというのが学校給食センターの基準になっている。福祉給食ができないかという意見もあったが、やはり子どもたちの学校給食を第一に考えると弁当は難しい。例えば、弁当を提供し、すぐに食わずに時間をおいて食したときに食中毒を発した場合は、給食センターが全部とまってしまうことになる。実際に作っている自治体もあるが、完全に動線を分けて別ルートとなっている。
委員	生ものでない食材等で余りがでたりはしないのか。
事務局	食材料は余りがでないように発注しているため、廃棄等はない。

【その他 1 月行事予定について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし
-----	------

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第1回定例教育委員会は1月27日（水）10時00分から開催したい と思います。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の第1回定例教育委員会は1月27日（水）10時00分から 開催します。

教育長

○閉会宣言 令和2年12月24日（木） 11時 10分